桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第 2840 地区　2021-2022 年度　国際ロータリーのテーマ

２０２１年

SERVE TO CHANGE LIVES

R.Ｉ会長 シェカール・メータ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー　前　原　勝　樹

会長　本田雄一郎　幹事　増山大祐

クラブ会報・情報委員会　金子勇人・飯塚荘一・木村洋一・中村光孝

１２月６日号

第３１７３回例会

（１１月２９日(月)第３例会）

1.　点　鐘
2.　ロータリーソング斉唱
3.　来訪者紹介
4.　新会員入会式
　株式会社 K&K 築炉　代表取締役　宮川和也君
　(1)推薦の言葉　　田中一枝さん
　(2)バッチの贈呈
　(3)歓迎の言葉
　(4)新会員挨拶
5.　出席100％表彰
6.　会長の時間
7.　幹事報告
8.　委員会報告
9.　ガバナー補佐講話
　群馬第2分区Ａガバナー補佐　坪井　良行君
10. 卓　話「新年度を迎えて」
　ﾛｰﾀﾘｰ財団･米山奨学室
　室　　長　松田　秀夫君
　ﾛｰﾀﾘｰ財団委員長　桑原　志郎君
　米山奨学委員長　　後藤　圭一君
　S. A. A　　Randolph 留利子さん
11. 点　鐘

ようこそビジター

〈群馬第2分区Ａガバナー補佐〉坪井　良行　君

〈米山奨学生〉刘　媛　様

新会員入会式

宮川和也君
株式会社　K&K 築炉
代表取締役

〈歓迎の言葉〉
ようこそ桐生ロータリークラブへ
桐生ロータリークラブへの入会を心から歓迎致します。宮川君は、倫理法人会の桐生支部会長を経て現在地区役員をしてらっしゃると聞いております。
また桐生青年会議所にも在籍しております。
倫理法人会は、倫理を基にして人としての生き方を学び実践することにより経営者と会社が成長し、社会に貢献することを目的としている団体
桐生青年会議所は、明るい豊かな町を目指してのまちづくり活動をする団体
ロータリークラブの基本的な考え方は、奉仕の理念です。すなわち他人への思いやりと人助けです。
まとめますと倫理法人会にて自身の資質の向上と会社の発展を目指し、青年会議所にて桐生のまちづくりを実践し、ロータリーにて地域の奉仕活動と世界への奉仕活動をする。これらを実行していく宮川君にエールを送るとともに桐生ロータリークラブの全メンバーがロータリー活動のサポートを致しますので新しい友をつくり、ロータリーを楽しんで下さい。

出席 100%表彰

腰塚　富夫君　５回
大島千賀子さん２回
平岩千鶴子さん２回

米山奨学金授与

須永カウンセラー
刘　媛　様

会長の時間

《報　告》
・11/18　親睦活動委員会家庭集会
・11/20 クラブ活性化ワークショップ
　　Zoom　会長・会長エレクト
　　宝田先生を偲ぶ会　　幹事
・11/22 桐生 4RC 会長幹事会
・11/25 ゴミ減量化推進協議会　富澤社会奉仕委員長
・11/28　RLI パートⅡ
　　久保田副幹事　松島地区研修委員

《予　定》
・例会終了後、定例理事会
・11/30　新地区補助金委員会　家庭集会
・12/4　米山学友会忘年会　刈　媛様

幹事報告

・ガバナー事務所より国際大会のご案内が届いております。
・群馬境 RC より創立 50 周年記念誌が届いております。
・日本てんかん協会より「からっかぜ」が届いております。
・桐生市国際交流協会より「ニュースレター」が届いております。
・桐生西、桐生赤城の各 RC より週報到着。
・次週 6 日例会は、年次総会、13 日例会は、ガバナー公式訪問となりますので皆様ご出席お願い致します。
・本日例会終了後、定例理事会を開催致しますので関係理事役員の方々は、ご出席よろしくお願い致します。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(令和3年11月29日)
総員65名:出席47名
令和3年11月8日例会修正出席率:81．97％

☺ ニコニコボックス

本田雄一郎君、柳明彦君、増山大祐君…坪井ガバナー補佐をお迎えして／本田雄一郎君、柳明彦君、大友一之君、田中一枝さん…新入会員宮川君ご入会おめでとうございます／北川洋君…お蔭様で脳梗塞をして4年間無事に過ごしています。ありがとうございます／前原勝君…桐生西の宮大祭えびす講無事終了致しました。宮司前原勝／桑原志郎君、後藤圭一君、松田秀夫君…卓話をさせて頂きます／竹内靖博君…結婚祝／前原勝君…誕生祝／大島千賀子さん、平岩千鶴子さん、腰塚富夫君…出席 100%。

親睦活動委員会

今年は、家族合同忘年クリスマス会を開催致しますのでご参加お願い致します。今回は、家族会の皆様のみご招待させて頂きます。
12 月 20 日(月)
点鐘:午後 6 時 30 分
場所:美喜仁桐生文化会館スカイホール A

ガバナー補佐講話

群馬第 2 分区 A
ガバナー補佐
(桐生西 RC)
　　坪井　良行君

9 月 27 日に足立進ガバナー公式訪問の予定でしたがコロナウィルス感染予防の為、延期となりまして今回 12 月 13 日に行えることとなりました。
当日は、例会前に懇談会を 75 分程度実施します。進行は、ガバナー補佐が行います。懇談会の内容は、下記のものとなりますので、発表者を決めておいてください。入会 3 年以下の新会員にも発言をお願い致します。
例会では、ガバナースピーチ 25 分程度の予定です
会長・幹事との個別面談もあるかもしれません。
マイロータリーの登録もご協力お願い致します。

卓　話

「新年度を迎えて」
ﾛｰﾀﾘｰ・米山奨学室
室長　松田　秀夫君

ロータリー財団・米山奨学室室長の松田です。この室は、桑原委員長が率いるロータリー財団委員会と後藤委員長が率いる米山奨学委員会の２委員会から成り立っております。本田会長が掲げられております計画と目標では、ロータリー財団委員かでは、地区補助金活用事業と社会奉仕委員会とともに行います、仮称ではありますが、桐生ロータリーファンドの設立と実施があります。こちらの桐生ロータリーファンドの設立と実施につきましては、今年度本田会長が企画立案されたまちづくりを応援する事業となります。また米山奨学委員会では、米山事業への理解を深める例会等の開催があります。それぞれの委員会の目標を達成するべく、1 年間精進いたしますので、何卒よろしくお願い致します。

「新年度を迎えて」
ロータリー財団委員会
委員長　桑原　志郎君

過去９年間の桐生 RC 地区補助金事業
牛膓会長年度　桐生倶楽部窓修理
坪井会長年度　貸し出し用キノピー作成・寄贈
堀　会長年度　「ゆい」へ電動自転車の寄贈
吉田会長年度　岡公園　女神像清掃
前原会長年度　社会福祉協議会

子育て子屋へおもちゃ寄贈
松島会長年度　地域再生の為の教育に関する講演会
須永会長年度　地域で子どもを見守る、子育てを助ける「地域子育て支援事業」
森　会長年度　少年スポーツ団体の健康管理とスポーツ環境美化
本田会長年度　　新入学児童の安全確保～

「新年度を迎えて」
米山奨学委員会
委員長　後藤　圭一君

米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952 年に東京ロータリー･クラブで始められたこの事業は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し､1967 年､文部省(現在の文部科学省)の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。
米山奨学事業の記念の称号を付した米山梅吉氏（1868－1946）は、幼少にして父と死別し、母の手一つで育てられました。16 歳の時、静岡県長泉町から上京し、働きながら勉学に励みました。20 歳で米国へ渡り、ベルモント・アカデミー（カリフォルニア州）ウエスレヤン大学（オハイオ州）シラキュース大学（ニューヨーク州）で 8 年間の苦学の留学生活を送りました。
帰国後、文筆家を志して勝海舟に師事しますが、友人の薦めで三井銀行に入社し常務取締役となり、その後、三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任しました。信託業法が制定されると逸早く信託会社を設立して、新分野を開拓し、その目的を”社会への貢献”とするなど、今日でいうフィランソロピー（Philanthropy*）の基盤を作りました。
ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。
ロータリー米山奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。
年間の奨学生採用数は 860 人（枠)、事業費は 14 億 4 千万円（2018-19 年度決算）と、国内では民間最大の国際奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で 21,023 人（2019 年 7 月現在)。その出身国は、世界 129 の国と地域に及びます。
10 月 15 日に締め切りを迎えた 2022 学年度の ロータリー米山記念奨学金（学部・修士・博士 ／地区奨励）には、指定校 563 校（地区を超えた指定校の重複含む。前年度 576 校）から 1,298 人(1,427 人)が推薦されました。大幅な減少ではないものの、新型コロナウイ ルスの影響により依然として海外からオンライ ンで授業を受けている学生が多いのも現状です。被推薦者の国籍・地域は、中国 54.2%(55.9%)、 ベトナム 13.8%(11.1%)、韓国 8.8%(8.8%)、 マレーシア 3.5%(3.4%)、次いでインドネシア、 ネパールの順となっています。
桐生ロータリークラブも地区目標である一人年間 16,000 円以上の寄付を毎年行っております。
参考として、昨年度の米山奨学への一人当たりの寄付金額は群馬県は全国で 8 位という貢献度で県として過去の累計寄付金額は 13 億 6 千万円以上になっています。

「新年度を迎えて」
Ｓ．Ａ．Ａ
Randolph 留利子さん

今年度 SAA の委員長をおおせつかりましたランドルフでございます。
今年度の目標
「奉仕の理念を掲げ、新たな旅にでよう」(Let’s go on a new journey with the ideal of service.)
RI 会長シェカール・メータ氏のテーマ及び地区スローガン「奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために」「Serve to Change Lives」を受け、充実した楽しい例会になるよう努めてまいります。又、本田会長の方針でございます「全員でロータリーを楽しもう」「Let’s enjoy Rotary together」を目指し、幹事、親睦活動委員会等の関係委員会との連携を図りながら 1 年間活動していきたいと考えております。
7 月から始まりました新年度、コロナ過の中で例会がなかなかできない中、11 月に入りようやく動き始めてまいりました。そして会場も Home coming home!「桐生倶楽部」に戻りました。長い間プリオさんでお世話になっておりましたが、桐生倶楽部へ戻った時に「やっぱり桐生倶楽部はいいなあ」と言うお声をあちこちで耳に致しました。伝統と歴史のある桐生倶楽部と桐生ロータリー、69 年間沢山の方々が沢山の時間を共にし､沢山のストリーがここで生まれ、そして今ここにいる皆様と一緒に本田会長年度の新しいページを作り上げていくのだな、と思うと SAA として重要な責任を感じ、改めて気持ちを引き締めた次第でございます。
良い例会とするために「良い食事」「良い卓話」「良い雰囲気」「good meal」「good speech」「good atmosphere」３G を基本に、会員の皆様が例会の食事や卓話を楽しみながら、気持ちよく豊かな時間をお過ごしになれるような会場・雰囲気づくりを心掛け、今年度副委員長 Mr.Kitagawa そして MR.Tsuboi と力を合わせ頑張りたいと思います。1 年間どうぞよろしくお願い致します。なる PR ができるよう努めて参ります。